

横須賀三浦

市町協議会活動を振り返って

横須賀三浦地域青少年指導員連絡協議会は、横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町の4市1町の青少年指導員連絡協議会（横須賀市は青少年育成推進員連絡協議会）で構成されています。各市町協議会の会長・副会長のみなさまの出席をいただき、青少年指導員活動研究会の開催や、イベントをはじめとした各種事業等の情報交換の場として会合を重ねています。今回、長年にわたる市町協議会活動の中で、思い出に残る事業や苦勞した点などを振り返っていただきましたので紹介します。

横須賀市青少年育成推進員連絡協議会

前会長 芦澤 雄一

本市では、各中学校の生徒数に応じて選出された160名が連絡協議会を構成し、中学校対抗ウォークラリー、非行防止キャンペーン、夜間パトロール、活動発表会、4研究部会活動などを行い、また市内の青少年育成5団体でわんぱくフェスティバルを開催しています。一方で各中学校区ごとに、地区の青少年関係役員等と地域連絡会を組織し、その運営を中心的に担っています。

様々な方向から青少年を見守り、5年10年後の社会を託せるよう心掛けたいものです。



ペリー上陸の地、久里浜を歩こう
(第10回中学校対抗ウォークラリー記念大会)

鎌倉市青少年指導員連絡協議会

会長 下山 浩子

鎌倉市58名全体の活動は、指導員が手作りした和だこを子どもの成長を願う子どもたこあげ大会、4年生から6年生で行う子どもキャンプ、11年目を迎えました中学生作文コンクールと全力で行っております。また、5地区での活動も地区ごとの計画を立て地域の子どもの成長をより近くに感じながら展開しております。又スキルUPの為に研修会を開催しております。

子どもキャンプは雨天ながら共に活動することで沢山の友達を作り、学校でもない時間が持てたことで、1年がかりの準備は大変なこともあります。子どもたちの笑顔をもらうことで、私たちも、子どもたちの明るい未来に向けて活動していこうと思います。

逗子市青少年指導員連絡協議会

文化部会 会長 内藤 昌浩

青少年指導員の活動で一番の思い出は、毎年5月5日に逗子海岸で開催される「こどもの日のつどい」です。逗子海岸ならではのイベントで、その中でも「砂の芸術」で審査員として優秀作品等を選出することが大変な任務です。どの作品も素晴らしく個性があり、順位を付けることが困難で、毎年頭を悩ませます。残念なことは、最後は作品を壊して平らにして帰らなければならないことです。是非一度「砂の芸術」の作品を観に、逗子海岸までお越しいただければと思います。



逗子海岸のイベント「砂の芸術」

三浦市青少年指導員連絡協議会

会長 石渡 昇

三浦市は、その歴史から三地域で構成され、地域ごとに各団体と協力しながら活動をしています。主催行事として特に印象的なのは、「中学校・高等学校生徒との懇談会」です。学校や友人、地域社会等をテーマに子ども達と青少年指導員が意見交換を行ないます。子ども達が、純真な感性で家族や友人、先生等を思いやり接していること、また地域の催事や景観等、核家族化や急激な高度情報化の中で想像以上に多くのことを真剣に考えていることを実感しています。



中学校・高等学校生徒との懇談会

葉山町青少年指導員連絡協議会

会長 諸岡 宏子

4つの小学校区から各5名が選任され20名で活動しています。主管事業の「さわやか体験学習」(工作)のほかに、小学生を対象とした町の事業「たけのこ掘り」、「潮干狩り」やジュニアリーダーズの「ジュニアキャンプ」、「成人式」、陸上競技会の「葉山町駅伝」など青少年が参加する様々な事業への協力を継続しています。

1期2年、最大12年の任期で、小学生から成人式まで見届けられることに感慨深いものがあります。



さわやか体験学習 (モビール作り)